

## 第6回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムシンポジウム開催案内

テーマ： 局方を考える ― これからの日本薬局方がめざすもの ―

日時： 12月22日 (火)

会場： 薬学会館長井記念ホール

主催： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

21世紀に入りまもなく10年、創薬関連技術の進歩、医薬品原料供給・製造の国際化等により、医薬品を巡る環境は大きく変化しつつあります。そのような状況下、医薬品の基準書である日本薬局方はどうあるべきか、考えてみようと思います。

### 1. 9:45-9:50

はじめに シンポジウムの目的 ―なぜ今― 川西 徹 (国立衛研)

### 2. 9:50-10:20

局方 (過去、現在、そして未来)： 医薬品規制の立場から 宇津 忍 (厚生労働省)

### 3. 10:20-10:50

局方： 局方16改正の方針、それから 早川堯夫 (近畿大学)

### 4. 10:50-11:10

局方： 改正審議の仕組みについて 濱本博幸 (総合機構)

### 5. 11:10-11:40

局方に期待するもの： 医薬品製造管理販売の立場から 猪狩康孝 (武田薬品)

### 6. 11:40-12:10

局方に期待するもの： アカデミア・教育の立場から 中村 洋 (東京理科大学)

昼休み

7. 13:10-13:40

局方に期待するもの： 薬剤師の立場から 七海 朗 (日本薬剤師会)

8. これからの局方

(1) 13:40-14:05 理化学試験法のこれから 四方田千佳子 (国立衛研)

(2) 14:05-14:30 日局一般試験法について ー製薬企業の立場から

柘植英哉 (第一三共)

休憩

(3) 14:40-15:05 化学薬品各条のこれから 奥田晴宏 (国立衛研)

(4) 15:05-15:30 生物薬品各条のこれから 山口照英 (国立衛研)

(5) 15:30-15:55 生薬各条並びに生薬・生薬製剤関連記載のこれから

合田幸広 (国立衛研)

(6) 15:55-16:20 医薬品添加物のこれから

徳永裕司 (総合機構)

(7) 16:20-16:45 局方における製剤：製剤総則と製剤試験

青柳伸男 (総合機構)

9. 総合討論 (16:50-17:30)

進行役：川西 徹 (国立衛研)、田邊豊重 (日本イーラーリリー)

参加費： 3000円 (学生会員1000円)

申込み方法： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会 HP

(<http://www.nihs.go.jp/doc/rs/index.html>) を開き、さらに

第6回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム開催案内

(<http://www.nihs.go.jp/doc/rs/iyaku/iyaku2009.pdf> : 本ファイルです)

を開いて、以下の通りに事前登録ください。

登録受付は11月19日(金)から行います。

当日受付は予定しておりません。

## [参加申込みサイト](#)

- (1) 上記参加申込みサイトをクリックして開き、参加申込用エクセル表をダウンロードしてください。
- (2) エクセル表に登録事項を記入し、登録用メールアドレス  
([6pharmregforum@nihs.go.jp](mailto:6pharmregforum@nihs.go.jp))あてに添付書類としてメール送信ください。
- (3) 後日受付番号をメールでお送りします(送信後4日以内に受付番号の連絡がない場合は、メールで問い合わせください)。
- (4) 定員(200名)に達し次第募集をうち切ります。
- (5) 参加費は当日お支払い下さい。その際受付番号を確認させていただきます。  
またおつりのないようお願いします。
- (6) 予稿集は当日お渡しいたします。

問い合わせ先： 〒158-8501 世田谷区上用賀 1-18-1

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 川西 徹

電話 : 03-3700-8469; E-mail: [6pharmregforum@nihs.go.jp](mailto:6pharmregforum@nihs.go.jp)